

## 漁港施設及び関連施設の被災状況の報告

水産工学研究所 浅川典敬

### 1. はじめに

水工研では、東日本大震災の被災状況調査を右に示した行程で実施しているところである。現在、水産庁委託調査の第2クールとして宮城県内漁港の現地調査を実施している。WSでは、第1クールの現地調査にて把握した特徴的な被災状況を速報として紹介する。

#### 水産工学研究所関係の現地調査

- ・3月14日～16日:近傍漁港の被災把握→HP  
波崎漁港、銚子漁港、外川漁港、飯岡漁港、鹿島港漁港区、那珂湊漁港
- ・4月7日～4月14日:水産庁取締船調査  
塩釜漁港、気仙沼漁港、大船渡漁港、釜石漁港、大槌漁港、山田漁港、八戸漁港
- ・5月30日～6月8日:水産庁委託調査(第1クール)  
大船渡漁港、大槌漁港、山田漁港、田老漁港
- ・6月15日～6月22日:水産庁委託調査(第2クール)  
気仙沼漁港、志津川漁港、女川漁港
- ・6月29日～7月6日:水産庁委託調査(第3クール)  
石巻漁港、関上漁港、松川浦漁港

### 2. 委託調査の趣旨

今般の水産庁委託調査の趣旨は、東北・関東地方の拠点的な12漁港について、現地調査による被災のデータ収集を行うとともに、地震と津波の外力による被災のメカニズムの解明を行うことを目的とする。また、復旧に向けた設計基準の見直し等について検討を行うこととしている。調査内容としては、①漁港施設等の被災状況調査（津波痕跡高等調査、常時微動観測等）②再現試験による詳細解析と改良・復旧工法の検討（2次元津波解析、動的詳細解析）③設計条件等に関する課題整理である。

### 3. 第1クール現地調査

第1クールとして、大船渡、大槌、山田、田老の岩手県の主要4漁港で現地調査を実施した。いずれの漁港も壊滅的な被害を受け、3ヶ月経過現在も復興の見通しが立っていない状況にある。詳細検討は引き続き実施するが、現地確認した範囲では、当該地域の地震の揺れによる被害は比較的軽微であった。



大槌の防潮堤の被災状況（天端高5m）

### 4. 今後の予定

現地調査を7月中旬頃に終了の予定。その後、津波シミュレーション解析・フィリップ解析等の詳細調査を実施し、被災のメカニズム解明に努める。

以上